

第50回産経市民の社会福祉賞

令和6年7月12日(金) 産経新聞 朝刊 第3社会面掲載

「産経市民の社会福祉賞」推薦募集

産経新聞厚生文化事業団は「第50回産経市民の社会福祉賞」の候補となる団体・個人を募集します。地域をよりよくする取り組みや福祉活動、子育て支援などに力を尽くしている個人や団体、企業、学生の中から選考し表彰します。

【対象】近畿2府4県を拠点に、ボランティアで活発な福祉活動を長期間行っている個人・団体。海外での活動も対象に含めます。福祉事業を業務とする個人・団体であっても、本来の業務ではなく私的な活動であれば対象とします。

【推薦要項】推薦用紙を産経新聞厚生文化事業団(06・6633・9241)へご請求ください。要項の詳細と推薦用紙を送ります。事業団ホームページからダウンロードも可能。締め切りは8月31日必着。推薦は他薦(複数の推薦人が必要)に限りません。

【発表と表彰】受賞者は産経新聞上で発表。11月下旬、大阪市内で表彰式と活動報告を行い、盾と副賞の賞金を贈ります。

令和6年10月7日(月) 産経新聞 朝刊一面掲載

産経市民の社会福祉賞 3団体決定

社会的に弱い立場の人に寄り添い支援する団体や個人を顕彰する「第50回産経市民の社会福祉賞」(産経新聞厚生文化事業団主催、産経新聞社など後援)に、「守口にほんご教室」(大阪府守口市)▽「東日本大震災支援プロジェクト「どろんこキャラバン☆たんば」」(兵庫県丹波市)▽「中浦まりおと仲間たち」(大阪市)の3団体が決まった。

また、昭和49年に設立された日本病院ボランティア協会に対し、50年の長きにわたる活動をたたえて特別表彰することも決めた。

「守口にほんご教室」は在日外国人を対象に日本語教室を開催し、地域社会とのつながりをサポートしてきた。「東日本大震災支援プロジェクト「どろんこキャラバン☆たんば」」は、福島第1原発事故の影響により外で遊ぶことができない福島の子供たちを地元で招待し交流活動を行っている。「中浦まりおと仲間たち」は、大阪府立大と大阪市立大(現大阪公立大)の学生を中心に40年間、重度の身体障害がある中浦まりおさんの生活介助にあたり、これまでに携わった学生は千人にのぼる。

11月27日、大阪市北区のホテルエルセラーン大阪で表彰式が行われる。